

第4次新城市食育推進計画

概要板

計画策定の背景

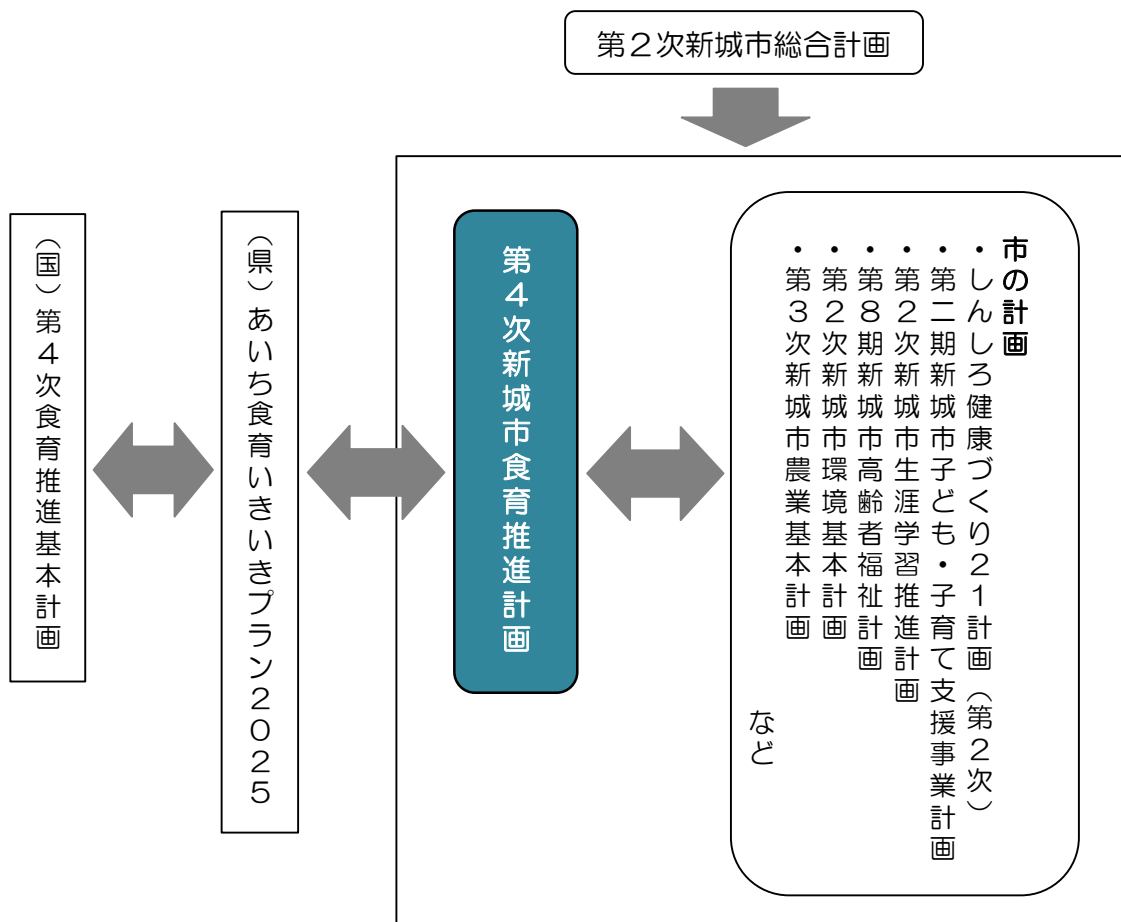
食は私たちが生きていくためには欠くことのできない大切なものです。

食をめぐる環境の変化に対処し、生涯にわたって健康で豊かな人間性を育むため、健全な食生活が実践できるように、第3次計画での成果や課題を踏まえ、第4次新城市食育推進計画を策定しました。この計画に基づき、市民の皆さんが食に関する知識と食を選択する力を習得でき、心身の健康の増進と豊かな人間形成ができるように食育を推進していきます。

計画の位置づけ

この計画の期間は、令和4年から令和8年までの5年間です。

この計画は、国や県の食育推進計画、市の関連計画などと整合を図りながら推進をしていきます。

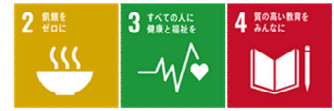


基本目標と施策

基本目標1 健全な食生活による心身の健康増進

★施策1 望ましい食生活の推進

主な取組：食に関する知識や理解を深め、栄養バランスのとれた食事や規則正しい食生活が実践できるよう、望ましい食生活を推進します。



★施策2 健康な身体づくりの推進

主な取組：生涯にわたって健康な身体を保つため、規則正しい食生活の実践や生活習慣病の予防と改善を図り、健康な身体づくりを推進します。



基本目標2 次世代へつなぐ食育の推進

★施策1 食を通じた交流や学びの推進

主な取組：家族や友人など様々な人と食を楽しむことは豊かな心を育み、食を学ぶことは感謝の心を育むことに繋がります。共食や食に関する学習機会、また家庭、学校、地域を通じて、豊かな心と感謝の心を育む取組を推進します。



★施策2 食文化の継承

主な取組：新都市の郷土料理や行事食、伝統食材などを次世代に伝承していくため、食文化を継承する取組を推進します。



基本目標3 新しい生活様式に対応した食育の推進

★施策1 新しい生活様式に対応した食育の普及啓発と情報発信

主な取組：コロナ禍の中、食の大切さや楽しさを実感するため、感染症対策に留意した上で、コミュニケーションを図る方法を模索し、食育を推進します。



★施策2 環境にやさしい食生活の推進

主な取組：SDGsで掲げる持続可能な社会構築に向けて、食品の無駄や廃棄を減少させるため、地産地消を推進し、環境に配慮した食生活の実践を促進します。

また、地産地消を推進するために、学校給食での地産地消率の向上や「地元農家を応援する店（地産地消推奨店）」の登録を促進し、市内飲食店等での市内産農畜産物の利用拡大を図ります。



行動指針

食育を具体的に推進していくためには、市民、こども園・学校、地域・職域、行政が互いに連携・協力していくことが大切です。基本目標ごとの取組について、どの分野で取り組んでいくかを明確にし、数値目標を達成するために食育を推進していきます。

基本目標 1 健全な食生活による心身の健康増進

取 組	取組場所			
	個人・家庭	こども園・学校	地域・職域	行政
栄養バランスのとれた食事の普及啓発	○	○	○	○（農業課、健康課）
市内産農畜産物を活用したメニューなどの情報発信	○	○	○	○（農業課）
野菜を食べることによる健康づくり	○	○	○	○（農業課、健康課）
早寝早起き朝ごはんの推進	○	○	○	○（農業課、健康課）
自分の適正体重の把握、内臓脂肪症候群の認知	○	○	○	○（健康課）
生活習慣病予防のための食習慣づくりの促進	○	○	○	○（健康課）
食事バランスガイドを意識した望ましい食生活の実践	○			○（健康課）
健康教室の開催	○		○	○（健康課、市民病院総務企画課）
スポーツ活動・教室の推進	○		○	○（生涯共育課）
高齢者の低栄養予防の啓発	○			○（高齢者支援課）
ミニティサービスの実施	○			○（高齢者支援課）
食の自立支援事業	○			○（高齢者支援課）

基本目標 2 次世代へつなぐ食育の推進

取 組	取組場所			
	個人・家庭	こども園・学校	地域・職域	行政
食農教育の推進、農業体験等実施のための支援	○	○		○（農業課、学校教育課）
親子ふれあい教室などの家庭教育、生涯学習の推進による交流機会の創出	○		○	○（農業課、生涯共育課）
親子和食料理教室開催による和食文化の継承	○	○	○	○（農業課）
郷土料理や伝統料理などの普及啓発の実施	○	○	○	○（農業課）
食を通じた青少年の健全育成の推進	○	○	○	○（農業課、生涯共育課）
新しい生活様式を踏まえた共食の推進	○		○	○（農業課、健康課）

基本目標 3 新しい生活様式に対応した食育の推進

取 組	取組場所			
	個人・家庭	こども園・学校	地域・職域	行政
感染回避を考慮したイベントや講習会の実施	○	○	○	○（農業課）
オンラインによる料理教室、料理動画の配信	○	○	○	○（農業課）
フードロス削減に向けた市民への情報提供	○	○	○	○（農業課、生活環境課）
フードバンク活用の促進	○	○	○	○（福祉課、こども未来課）
生ごみ発生抑制の取組の推進	○	○	○	○（農業課、生活環境課）
学校給食における地産地消の推進		○	○	○（農業課、教育総務課）
学校給食における市内産農畜産物の供給体制の構築		○	○	○（農業課、教育総務課）
こども園給食における地産地消の推進		○	○	○（農業課、こども未来課）
こども園給食における市内産農畜産物の供給体制の構築		○	○	○（農業課、こども未来課）
社員食堂や飲食店での地産地消の推進			○	○（農業課）
食へ残し抑制のための周知活動	○	○	○	○（農業課、健康課）
化学肥料や農薬の使用削減の推進	○		○	○（農業課）
環境に配慮した食に関する情報提供	○	○	○	○（農業課、環境政策課）
食育推進キャラクターの紹介、啓発	○	○	○	○（農業課）
市内産農畜産物を活用した加工品の開発	○	○	○	○（農業課）
旬の食材や献立について情報提供	○	○	○	○（農業課）
食育の推進内容の情報発信や啓発活動の実施	○	○	○	○（農業課）
新城市食育推進計画の周知	○	○	○	○（農業課）

目標数値

第3次食育推進計画に基づく推進結果及び、令和3年11月～12月実施のアンケート結果からみえる現状を踏まえ、第4次食育推進計画の目標値として設定しました。

		現状(R3)	目標(R8)	効果 (基本目標)
1	朝食を食べていない人の割合	4.3%	0% (欠食をしない)	基本目標1
2	バランスのとれた食事をする人の割合	77.6%	80.0%	基本目標1
3	内臓脂肪症候群を認知している人の割合	76.9%	90.0%	基本目標1
4	自分の適正体重を知っている人の割合	70.8%	75.0%	基本目標1
5	1日3回野菜を食べている人の割合	22.6%	30.0%	基本目標1
6	地域や家庭で受け継がれてきた郷土料理や伝統料理を伝承している人の割合	37.5%	50.0%	基本目標2
7	食育に関心を持っている人の割合	79.1%	90.0%	基本目標3
8	食育に関心を持っている若い世代の割合	57.8%	70.0%	基本目標3
9	食育の意味を知っている人の割合	57.5%	90.0%	基本目標3
10	市で食育を推進していることを知っている人の割合	49.1%	90.0%	基本目標3
11	新城市食育推進計画を知っている人の割合	4.1%	20.0%	基本目標3
12	市産市食の内容を知っている人の割合	64.0%	80.0%	基本目標3
13	学校給食における地場産物を使用する割合（食材数の年平均）	市内産9.6%	市内産15.0%	基本目標3
14	食べ残しをしない工夫をする人の割合	54.4%	70.0%	基本目標3

- ・若い世代とは、10代と20代の男女のこととします。
- ・学校給食の現状や目標は、市教育委員会の調査によるものです。



第4次新城市食育推進計画 概要板

令和4年3月 策定

発行：新城市産業振興部農業課

〒441-1392 愛知県新城市字東入船 115 番地

電話：0536-23-7632 FAX：0536-23-7047

E mail：noushin@city.shinshiro.lg.jp